大分県外科医会第 263 回例会

日時：令和 8 年 9 月 19 日(土) 14:00～18:00

会場：荷揚 BASE（荷揚複合公共施設・大分市役所別館）

[1] 当番施設代表挨拶　　大分大学医学部　呼吸器・乳腺外科学講座　　小副川　敦

[2] 会長挨拶　　大分県外科医会会長　　猪股　雅史

[3] 一般演題

I.　下部消化管・腹壁　　座長：藤田 隼輔　（大分大学医学部　消化器・小児外科学講座）【14：10～14：58】

(1) 大腸癌でプロモーター高メチル化により発現が抑制される新規候補遺伝子 CLIC6

九州大学別府病院　外科

柳 尚吾、永島 翔一郎、家城 英治、鎌田 紘輔、曽我 真弘、高階 悠、大町 一樹、河田 古都、安東 由紀、胡 慶江、笠木 勇太、米村 祐輔、三森 功士

(2) LAMN を背景にした局所進行虫垂癌の一切除例

大分県立病院　外科・乳腺外科

<u>満安 貴大</u>、梅田 健二、内野 太介、佐藤 雄太、堤 智崇、木村 光一、川崎 貴秀、増田 隆伸、寺師 貴啓、増野 浩二郎、池部 正彦、板東 登志雄、宇都宮 徹

(3)腸管を用いた造膣術後の膣脱に対し根治術を施行した１例

1. 九州大学病院別府病院　外科

2. 九州大学病院別府病院　婦人科

笠木 勇太[1]、永島 翔一郎[1]、高階 悠[1]、河田 古都[1]、安東 由貴[1]、胡 江慶[1]、米村 祐輔[1]、新貝 妙子[2]、中村 恭子[2]、村上 孟司[2]、園田 顕三[2]、三森 功士[1]

(4)手術部位感染によって腸管が露出した腹壁開放創を持続陰圧洗浄療法で制御し得た一例

南海医療センター　外科

川口 蓮太、渡邉 淳平、原 貴生、武内 裕

(5)腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術時のメッシュ固定に Histoacryl® LapFix を使用した１例

大分岡病院 消化器センター

<u>川野 魁仁</u>、河田 一平、田邉 三思、藤井 及三、佐藤 博、荒巻 政憲

(6) Interparietal hernia に対して TEP を施行した１例

豊後大野市民病院外科

前田 哲哉、其田 和也、甲斐 成一郎、木下 忠彦

II. 上部消化管・肝胆膵・後腹膜　座長：笠木 勇太　（九州大学病院別府病院　外科）　【15：00～15：48】

(7)当院で経験した胃 GIST に対する腹腔鏡下胃内手術の 3 例

津久見中央病院　外科

市原 広基、江口 英利、石川 浩一

(8)晩期肝転移再発をきたした胃神経内分泌癌の一例

大分医療センター　外科

緒方 克哉、井口 友宏、小野 可穂菜、小林 照之、渡邉 公紀、椛島 章

(9)腹腔鏡下切除を行った大網捻転症の1例

大分赤十字病院　外科

多田 和裕、三浦 一晋、坂田 一仁、伊藤 謙作、黒田 陽介、高祖 英典、吉住 文孝、岩城 堅太郎、

廣重 彰二、武内 秀也、山下 洋市、福澤 謙吾

(10)造影CTで診断困難であり小腸内視鏡で診断した出血性空腸GISTの1例

新別府病院　外科

舩木　康介、松嵜　皓大、田島　正晃、菊池　暢之

(11)下大静脈原発平滑筋肉腫の3切除例

1.大分大学消化器・小児外科学講座

2.総合外科・地域連携学講座

3.大分大学　心臓血管外科学講座

猪股 直高[1]、増田 崇[1]、河原 大和[1]、三吉野 航[1]、中村 駿[1]、長澤 由依子[1]、藤永 淳郎[1]、

髙山 洋臣[2]、河野 陽子[1]、平下 禎二郎[1]、遠藤 裕一[1]、首藤 敬史[3]、猪股 雅史[1]

(12)腹腔鏡下脾摘出術を施行した脾リンパ管腫の1例

大分市医師会立アルメイダ病院　外科

中島　雅輝、一万田　充洋、橋本　拓造、地原　想太郎、安田　一弘、釘宮　睦博、白鳥　敏夫

III.呼吸器外科　　座長：若洲 翔　（大分大学医学部　呼吸器・乳腺外科学講座）　　【15：50～16：38】

(13)悪性中枢気道狭窄に対するハイブリッド気道ステントの有用性

大分大学医学部　呼吸器・乳腺外科学講座

太田 和貴、若洲 翔、久保田 智大、渡邉 功成、工藤 栄華、野田 大樹、安部 美幸、内匠 陽平、

杉尾 賢二、小副川 敦

(14)受傷7日目に緊急手術を要した胸部外傷の1例

大分市医師会立アルメイダ病院 呼吸器外科

川野 光毅、大塚 俊也、三浦 隆

(15)膿胸術後の難治性肺膿瘍に対してアスピレーションキットによるドレナージが奏功した一例

大分県厚生連鶴見病院　呼吸器外科

阿部 祐太、阿南 健太郎

(16)腹膜透析による横隔膜交通症に対しインドシアニングリーン腹腔内注入が手術に有用であった一例

別府医療センター　外科

手嶋 明里、福山 誠一、古庄 穂、木津 謙也、池田 真一郎、折本 大樹、川久保 英介、梅野 惟史、

吉田 大輔、田中 仁寛、久米 正純、矢田 一宏、岡本 龍郎、松本 敏文、川中 博文

(17)呼吸器外科手術における臨床工学技士によるスコピスト業務導入の有用性と安全性

1. 大分県立病院　呼吸器外科

2. 大分県立病院　CE センター

橋本 崇史[1]、宮脇 美千代[1]、大倉 久典[2]、佐藤 史弥[2]、山内 悠大[2]、佐藤 大輔[2]

(18)ロボット支援下前方アプローチの経験報告

中津市民病院　外科

佐藤 貴大、山崎 宏司、大津 亘留、酒井 陽玄、中林 和庸、財津 瑛子、永松 敏子、内田 博喜、福山 康朗、折田 博之、是永 大輔

[4] 若手外科医のためのワンポイントレクチャー　【16：40～16：55】

司会：大分大学医学部 総合外科・地域連携学講座　上田 貴威

『大分県の地域外科医療　ーアンケート調査で見えたことー』

大分大学医学部　総合外科・地域連携学講座 助教

髙山 洋臣　先生

[5] 特別講演　【17：00～18：00】

司会：大分大学医学部 呼吸器・乳腺外科学講座　小副川 敦

『シングルポート手術支援ロボットがもたらす新たな呼吸器外科手術と RATS の将来性』

三重大学医学部附属病院　呼吸器外科　教授

川口 晃司　先生

[6] 次回当番施設代表挨拶　大分医療センター　外科　椛島 章

[7] 閉会挨拶　大分大学医学部　呼吸器・乳腺外科学講座　小副川 敦

※１．一般演題は、発表時間 5 分、討論 3 分　時間厳守でお願いします。

※２．抄録は演題名、所属（所属が異なれば改行）、発表者、共同発表者、抄録本文の順に邦文ワープロ（フォント 10.5　MS 明朝、１行 25 字詰 16 行※16 行には演題名・所属・発表者含む）で記入して下さい。

・発表者及び共同発表者は日本臨床外科学会会員に限りますので、未入会者は記載しないでください。

・提出先：大分県外科医会事務局(gekaikai@oita-u.ac.jp) にメールにてご提出下さい。

・提出期限：例会終了後１ヶ月以内

※３．本会は日本医師会生涯教育制度適合学術会に指定されています。